

押小だより

てん し ん ら ん ま ん

天真爛漫



令和5年7月20日
さくら市立押上小学校
令和5年度 第7号
文責：仁平 博幸

実り多い夏休みに

いよいよ明日7月21日（金）から、子どもたちにとって待ちに待った夏休みが始まります。8月28日（月）までの39日間の夏休みは、子どもたちが家庭に地域に戻って過ごすことになります。子どもたちの安心・安全、そして地域で健やかに子どもたちが育つためにも、どうぞ、みなさんで子どもたちに「3かけ」をぜひお願いしたいと思います。

- 「3かけ」
- ①目をかける（気にしていただく）
 - ②声をかける（あいさつ、つながりをもってもらう）
 - ③手をかける（必要なことを支援いただく）

さて、今日の夏休み前集会で、夏休みについて子どもたちに次のことをお話ししました。

夏休み前集会で、子どもたちに話したこと

1 目標をもって学習・生活する

だらだらしているとあっという間に時間は過ぎる。一日一日を大切にする。

2 ささまざまな体験をして思い出をつくる

成功しても失敗してもよい思い出になる。夏休みの思い出は自分の引き出しになる。

3 命を大切にする（自分の命は自分で守る）

交通事故、病気、けがに十分気をつける。事件・事故に遭わない。

「いかのおすし」（いかない・のらない・大（おお）声を出す・すぐににげる・しらせる）を守る。



今年度、始業式から数えて70日（授業日。1年生は68日）、子どもたちは、どの学年も一生懸命自分の力を発揮して、学習に生活にがんばってきました。まさに、子ども一人一人が「主人公」で活躍していたと感じています。また、私の大切にしている「安心・安全」を学校あげて取り組み、保護者・地域の皆様にも協力いただき、大きな事件・事故等なく夏休みを迎えられることに感謝しています。

今日帰るときには「また明日ね」ではなく「また8月29日ね」と笑顔で帰れていれらうれしい限りです。実り多い夏休みとなるためにも、ぜひ、上記の1～3をご家庭でもお子様に随時お話しください。

8月29日（火）には元気に109人の子どもたちと再会し、いろいろな夏休みの思い出を聞けることを楽しみにしています。（仁平博幸）

（ご連絡）「校長からの自由課題」について

「さくら市ミュージアム～荒井寛方記念館～」では、この夏に、開館30周年記念特別展として、「とちぎ縄文の夏 5000年前の土器世界」が開催されます。

そこで、夏休みを利用して、この展覧会に足を運んでいただき、子どもたちが展覧会から学んだことや心にのこったことなどをレポートにするという課題（自由課題）を右のようなお便りにもして先日子どもたちに配布しました。

保護者の方は、保護料が少し（高校生以下は半額、小学生以下は無料）ですが、子どもたちの貴重な体験や学習の場となるので、ぜひともご協力をお願いいたします。（必ずご検討ください。）



♡土器土器（ドキドキ）の夏2023♡

さくら市立押上小学校

～校長先生からの自由課題～



夏休みはミュージアムに行って、
ワクワク土器土器（ドキドキ）してみよう



みなさん、7月21日から楽しい夏休みですね。みなさんが住むさくら市にある「さくら市ミュージアム」では、この夏に、「とちぎ縄文の夏 5000年前の土器世界」という展覧会が開催されます。昔々、5000年前（！）の人たちが作って使っていたいろいろな土器が展示されます（土器…土で作った入れ物。食べ物などを入れたり、料理で使ったりしていたようです）。昔のことを調べるのが好きな校長先生もとても楽しみにしている展覧会で、ワクワク土器土器（ドキドキ）しています。歴史が好きな人、図工が好きな人、また、土器にドキドキしてみたい人はぜひ行ってみてください。そして、展覧会で分かったことや心にのこったこと、好きな土器のことなどを、後ろのレポート（ワークシート）にまとめて、夏休みが終わって学校が始まったら、校長先生に渡してください。みなさんからのレポートを楽しみにしています。（レポートの提出は自由です。）



（保護者の皆様）

「さくら市ミュージアム～荒井寛方記念館～」では、この夏に、開館30周年記念特別展として、「とちぎ縄文の夏 5000年前の土器世界」が開催されます。一般の方は観覧料が少しかかります（市民は半額、高校生以下は無料ですが）が、ぜひ、子どもたちの夏休み中の貴重な体験や学習の場として足を運んでいただけたらうれしく思います。（必ずの宿題ではありませんので、ご検討いただければ幸いです。）

なお、各種体験学習もあるようですので、参加した際にはそのことをワークシートにまとめていただいても結構です。子どもたちの豊かな学びのためにご協力いただければ幸いです。（仁平 博幸）
～展覧会の詳細は左の QR コードからご確認ください。

夏休み特集記事 ～先生方の小さい頃の夏休みの思い出・楽しみは～

◇斎藤教頭先生

地域のお祭りで、法被を着て神輿を担いで神社まで練り歩きました。休憩時に飲むシロップがおいしかったです。

◇柳田先生(教務主任)

午前中は毎日部活(サッカー)でした。終わった後にアイス(ガリガリ君)を食べるのがとても楽しみでした。

◇平山先生(1年担任)

家族旅行で毎年新潟県の長岡の花火大会に行っていました。花火の迫力がすごくて印象に残っています。

◇川人先生(2年担任)

自転車でいろいろな場所のプールに行って



◇五月女先生(3年担任)

夏休みの思い出と考えると、育成会でのラジオ体操や夏祭りの子供神輿の記憶が蘇りました。昭和の夏!

◇日下部先生(4年担任)

毎日毎日友だちと遊んでプールに行って勉強して運動して時々花火にスイカ。そんな小学生の夏休みでした。

◇吉田先生(5年担任)

山形県にある祖父母の家に毎年泊まりに行きました。早起きして近くの小学校のターザンロープで遊びました。

◇中山先生(6年担任)

幼なじみの幸江ちゃんと自転車でプールに行ったり、外遊びをしたり、毎日毎日よく遊んだことが思い出です。

◇小口先生(少人数指導担当)

海に何度も連れて行ってもらった。日焼けして皮がむけてしまい風呂に入るのがとてもつらかった。

◇和氣先生(養護教諭)

家族で毎年キャンプに行ったり、ディズニーリゾートやUSJに行ったりしました。とても感謝しています。

◇徳永先生(学校栄養士)

家族や近所の人たちと花火をしたこと。ねずみ花火が大好きでした。

◇佐藤(陽)先生(事務主任)

ある日の深夜、祖父に起こされ大洗まで自転車片道5時間、海釣りに。でも結局何も釣れませんでした。

◇桑波田先生(1～3年副担)

毎年、フェリーで屋久島に行っていました。台風で帰ってこられなかったのもよい思い出です。

◇齊藤(則)先生(まつのみルーム担当)

毎年夏休みになると、うれしくて遊んでしまい、最後に宿題が残り、あわててやっていました。

◇北原先生(4～6年副担)

中学校の部活です。ソフトボール部で最後の夏、県大会を逃しましたが、それもまた思い出です。

◇柏原先生(1～3年副担)

部活のソフトボールをがんばったこと。暑い中練習した後の、監督が買ってくれるアイスが楽しみだった。

◇佐藤(真)先生(図書事務員)

朝のラジオ体操の後、そのまま近所の友だちと暗くなるまで遊んだこと。夏休みだけの特別な時間でした。

◇高橋先生(理科支援員)

友だちとプールに行っていました。朝から夕方まで一日中泳いでいたので日焼けで真っ黒でした。

◇大岩先生(用務員)

たばこの葉を干す仕事を手伝ったごほうびで、お菓子を買うのが楽しみでした。

◇田村先生(教員業務支援員)

夢科のホテルのプールで溺れた子にしがみつかれ一緒に溺れそうに。大人の人に助けられ無事でした。



ちなみに…◇私の思い出は、キンキンに冷やした部屋で、アツアツのラーメンを家族みんなで食べたことです。ささやかな幸せ。

◇7月の学校の様子をご紹介します。

7月5日(水)

○自由参観日(2・3校時)

授業参観を実施しました。子どもたちの授業の様子はいかがだったでしょうか。



7月14日(金)

○チャレンジ集会

児童会の行事で、委員会の活動にチャレンジしました。内容を一新して実施しました。



7月18日(火)

○着衣水泳(5・6年)

防災教育の一環として、水難時を想定した着衣水泳を行いました。「浮いて待て」を学びました。



押上小がこんな学校に…

「一人一人が主人公の学校」

「みんなが幸せを感じる学校」

『また明日ね』と笑顔で帰れる学校

◎夏休み中、事件事故や不審者との遭遇等があった場合は、まず警察に連絡してください。

◎8月13日(日)から16日(水)は学校業務休止日です。その間の平日(14～16日)は学校には誰もいませんのでご承知おきください。その間の緊急時の連絡は、市教育委員会(TEL 028-686-6620)までお願いします。

それでは…楽しい夏休みを!